2023年10月期　決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年12月13日

上 場 会 社 名　株式会社ラバブルマーケティンググループ　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　9254　URL https://lmg.co.jp/
代　表　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 林　雅之
問合せ先責任者　(役職名) 執行役員　(氏名) 中川　徳之　(TEL) 03-6381-5291

定時株主総会開催予定日　2024年１月26日　配当支払開始予定日　―
有価証券報告書提出予定日　2024年１月26日
決算補足説明資料作成の有無　：　有
決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

１．2023年10月期の連結業績（2023年４月１日～2023年10月31日）

（１）連結経営成績　(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期	1,025	−	22	−	25	−	9	−
2023年３月期	1,653	19.1	80	△59.9	79	△57.3	44	△51.4

(注) 包括利益　2023年10月期　21百万円(　－%)　2023年３月期　48百万円(　△49.1%)

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年10月期	6.76	6.68	1.8	1.8	2.2
2023年３月期	31.46	30.75	9.0	5.8	4.9

(参考) 持分法投資損益　2023年10月期　－百万円　2023年３月期　－百万円

（注）2023年10月期は決算期変更の経過期間に伴い７ヶ月決算となっておりますので、対前期増減率につきましては記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期	1,405	574	39.3	381.66
2023年３月期	1,411	552	37.8	369.10

(参考) 自己資本　2023年10月期　552百万円　2023年3月期　533百万円

（３）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年10月期	52	△135	△0	668
2023年３月期	△176	△108	171	750

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2023年10月期	―	0.00	―	0.00	0.00	―	―	―
2024年10月期(予想)	―	0.00	―	0.00	0.00		―	

３．2024年10月期の連結業績予想（2023年11月１日～2024年10月31日）

（%表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	2,000	－	100	－	100	－	60	－	41.47

（注）2023年10月期は決算期変更の経過期間に伴い７ヶ月決算となっておりますので、対前期増減率につきましては記載しておりません。

※　注記事項

（１）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）　：　無

新規　　-社（社名）　　　　　　　　　　、除外　　-社（社名）

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年10月期	1,446,775株	2023年３月期	1,446,775株
②　期末自己株式数	2023年10月期	－株	2023年３月期	－株
③　期中平均株式数	2023年10月期	1,446,775株	2023年３月期	1,409,866株

（参考）　個別業績の概要

１．2023年10月期の個別業績（2023年４月１日～2023年10月31日）

（１）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期	557	―	339	―	339	―	315	―
2023年３月期	384	35.6	13	―	10	―	3	―

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期	218.02	215.30
2023年３月期	2.66	2.60

（注）2023年10月期は決算期変更の経過期間に伴い７ヶ月決算となっておりますので、対前期増減率につきましては記載しておりません。

（２）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期	761	471	61.9	326.04
2023年３月期	482	156	32.4	108.02

(参考) 自己資本　　2023年10月期　　471百万円　　2023年３月期　　156百万円

＜個別業績の前年度実績値との差異理由＞

当社は純粋持株会社であり、各子会社の管理業務の受託が主な事業内容となりますが、当事業年度において決算期変更の経過期間に伴い７ヶ月決算であったことや子会社からの配当金の受領等により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績との間に差異が生じております。

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述などについてのご注意）

本資料に記載されている予測数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… ２
（１）当期の経営成績の概況 …… ２
（２）当期の財政状態の概況 …… ３
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… ３
（４）今後の見通し …… ３
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… ３
３．連結財務諸表及び主な注記 …… ４
（１）連結貸借対照表 …… ４
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… ６
（３）連結株主資本等変動計算書 …… ８
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… ９
（５）連結財務諸表に関する注記事項 …… １０
（継続企業の前提に関する注記） …… １０
（セグメント情報等） …… １０
（１株当たり情報） …… １３
（重要な後発事象） …… １３

１．経営成績等の概況

2023年10月期は決算期変更の経過期間に伴い、2023年４月から2023年10月までの７ヶ月決算となっております。このため、対前期増減率につきましては記載しておりません。

（１）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策による行動制限が緩和され、個人消費やインバウンド需要が回復し、景気は緩やかな回復傾向が見られました。一方で、世界的なエネルギー資源や原材料の価格高騰、ウクライナ情勢の長期化、為替の円安懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開するデジタルマーケティング領域におきましては、国内外の様々な影響を受けつつも、社会活動のデジタル化を背景に高い成長率を保っており、「2022年日本の広告費」（株式会社電通）によると、インターネット広告市場は前年比14.3%増の３兆912億円となりました。

このような状況の下、当社グループでは「運用支援」、「運用支援ツールの提供」、「教育」といった当社グループ独自のソリューションを強みに、企業のマーケティング活動を総合的に支援してまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,025,381千円、営業利益22,265千円、経常利益25,456千円、親会社株主に帰属する当期純利益9,785千円となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

(SNSマーケティング事業)

企業のSNSアカウントの戦略策定から開設、運用代行、キャンペーンの企画・運用、広告出稿、レポート作成、効果検証までサポートするSNSアカウント運用支援サービス、SNSマーケティングを効率化するSaaS型のSNS運用支援ツールの開発・提供をしております。また、これらのノウハウを活かしてコンテンツ開発をしたSNSエキスパート検定講座の提供をしております。

当連結会計年度におきまして、(株)コムニコでは、SNS運用支援の新規受注件数が前年同期比で大幅に増加したほか、当社との年間取引高が1,000万円を超えるロイヤルクライアントも順調に増加しております。また、ChatGPTを活用した法人向けプラットフォームの代理販売開始やSNS上でブランドやサービスの認知度等の調査を行う「ファンサーベイ代行サービス」を開始するなど、サービス拡充に努めております。

4月に新規設立した(株)ジソウは、比較的予算の少ない地方自治体、中堅・中小企業や個別のブランド、サービスなど小規模でSNSを運用する企業や団体を対象顧客として事業を開始いたしました。設立直後より、多くの問い合わせをいただき順調に受注数を拡大しております。

(社)SNSエキスパート協会では、検定講座の提供に加え、昨今の青少年がSNSの利用により、投稿の炎上や犯罪に巻き込まれるケースが頻発化する社会状況への対策として、青少年が正しく安全にSNSの利用ができるように啓発する教育プログラムの提供を開始いたしました。

また、東南アジアへの海外展開および拡大するインバウンド市場への事業展開を成長戦略に掲げる当社は、4月にタイを拠点に東南アジアでマーケティング事業を展開する「DTK AD Co.,Ltd.」を子会社化したほか、7月に東アジアでのマーケティング支援に強みを持つアジアンブリッジ株式会社と資本業務提携を行い支援対象地域を拡大いたしました。

さらに、日本の飲食事業者の海外進出を支援する「お試し出店サービス」を開始し、マレーシアで事業展開をするための合弁会社「TASTE FOOD JAPAN SDN. BHD.」へ出資いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高(「セグメント間の内部売上高又は振替高」を含まない外部顧客への売上高（以下同じ）)は978,315千円、セグメント利益は246,951千円となりました。

(DX支援事業)

マーケティングオートメーション、営業支援システム、顧客管理システムに加え、販売管理などバックオフィス領域の支援を開始しました。これにより、フロントオフィスからバックオフィスまで一気通貫で支援できる体制とし、Salesforceの運用サポートサービスの拡充と顧客開拓に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は47,065千円、セグメント損失は6,211千円となりました

（２）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ122,531千円減少し1,148,678千円となりました。これは主に、現金及び預金が82,481千円、売掛金が88,011千円減少したこと等によります。固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ116,544千円増加し256,773千円となりました。これは主に、のれんが85,374千円増加したこと等によります。その結果、資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ5,987千円減少し1,405,452千円となりました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,539千円増加し583,781千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が29,041千円増加したこと等によります。固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ29,343千円減少し247,096千円となりました。これは長期借入金が29,343千円減少したことによります。その結果、負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ27,803千円減少し830,877千円となりました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ21,815千円増加し574,574千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が9,785千円増加したこと等によるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度に比べて82,481千円減少し、668,146千円となりました。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、52,123千円（前期は176,202千円の支出）となりました。これは主に売上債権の減少による107,827千円の増加、法人税等の支払71,794千円等によるものであります。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、135,168千円（前期は108,740千円の支出）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出29,890千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出92,883千円等によるものであります。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、302千円（前期は171,657千円の収入）となりました。これは長期借入れによる収入50,000千円、長期借入金の返済による支出50,302千円によるものであります。

（４）今後の見通し

2024年10月期の業績予想につきましては、当社グループが事業展開を行うデジタルマーケティング領域においては、コロナ禍で加速した社会活動のデジタル化を背景にインターネット広告費の拡大は今後も進むと予想されており、業績見通しは、売上高2,000百万円、営業利益100百万円、経常利益100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益60百万円を見込んでおります。

なお、本資料に記載されている予測数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後のIFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

３．連結財務諸表及び主な注記

（１）連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当連結会計年度 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	750,628	668,146
受取手形	17,945	4,873
売掛金	428,428	340,416
電子記録債権	－	10,462
仕掛品	945	22,887
未収還付法人税等	18,347	66,907
その他	54,961	39,075
貸倒引当金	△46	△4,091
流動資産合計	1,271,210	1,148,678
固定資産		
有形固定資産		
建物	30,357	31,487
減価償却累計額	△1,456	△3,139
建物（純額）	28,901	28,347
工具、器具及び備品	27,313	41,233
減価償却累計額	△4,572	△16,947
工具、器具及び備品（純額）	22,741	24,285
有形固定資産合計	51,642	52,633
無形固定資産		
のれん	－	85,374
ソフトウエア	646	521
その他	－	3,001
無形固定資産合計	646	88,896
投資その他の資産		
投資有価証券	9,990	39,880
敷金	45,387	46,612
繰延税金資産	31,338	23,306
その他	1,226	5,445
投資その他の資産合計	87,941	115,244
固定資産合計	140,229	256,773
資産合計	1,411,440	1,405,452

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当連結会計年度 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,935	48,850
短期借入金	200,000	200,000
１年内返済予定の長期借入金	75,789	104,830
未払金	130,033	107,813
未払法人税等	10,465	11,985
未払消費税等	26,746	35,084
契約負債	20,896	35,306
その他	41,376	39,911
流動負債合計	582,242	583,781
固定負債		
長期借入金	276,439	247,096
固定負債合計	276,439	247,096
負債合計	858,681	830,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	287,826	287,826
資本剰余金	262,376	262,376
利益剰余金	△16,203	△6,417
株主資本合計	533,999	543,785
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	－	8,389
その他の包括利益累計額合計	－	8,389
非支配株主持分	18,759	22,399
純資産合計	552,758	574,574
負債純資産合計	1,411,440	1,405,452

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自　2022年４月１日 至　2023年３月31日)	当連結会計年度 (自　2023年４月１日 至　2023年10月31日)
売上高	1,653,701	1,025,381
売上原価	772,933	506,508
売上総利益	880,768	518,873
販売費及び一般管理費	800,473	496,607
営業利益	80,294	22,265
営業外収益		
受取利息	25	56
為替差益	－	594
受取手数料	－	580
補助金収入	2,505	2,820
印税収入	962	721
講演料等収入	1,076	1,050
その他	99	382
営業外収益合計	4,668	6,206
営業外費用		
支払利息	4,380	2,989
為替差損	622	－
その他	54	25
営業外費用合計	5,057	3,015
経常利益	79,905	25,456
特別損失		
固定資産除却損	0	26
特別損失合計	0	26
税金等調整前当期純利益	79,905	25,430
法人税、住民税及び事業税	31,252	16,163
法人税等調整額	△323	△4,158
法人税等合計	30,929	12,004
当期純利益	48,975	13,426
非支配株主に帰属する当期純利益	4,620	3,640
親会社株主に帰属する当期純利益	44,355	9,785

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2022年４月１日 至　2023年３月31日）	当連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2023年10月31日）
当期純利益	48,975	13,426
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	－	8,389
その他の包括利益合計	－	8,389
包括利益	48,975	21,815
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	44,355	18,175
非支配株主に係る包括利益	4,620	3,640

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自　2022年４月１日　至　2023年３月31日)

（単位：千円）

	株主資本				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
当期首残高	266,687	241,237	△60,558	447,366	2,940	14,138	464,444
当期変動額							
新株予約権の行使	21,139	21,139		42,278			42,278
親会社株主に帰属する当期純利益			44,355	44,355			44,355
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					△2,940	4,620	1,680
当期変動額合計	21,139	21,139	44,355	86,633	△2,940	4,620	88,314
当期末残高	287,826	262,376	△16,203	533,999	－	18,759	552,758

当連結会計年度(自　2023年４月１日　至　2023年10月31日)

（単位：千円）

	株主資本				その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	287,826	262,376	△16,203	533,999	－	－	18,759	552,758
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益			9,785	9,785				9,785
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					8,389	8,389	3,640	12,030
当期変動額合計	－	－	9,785	9,785	8,389	8,389	3,640	21,815
当期末残高	287,826	262,376	△6,417	543,785	8,389	8,389	22,399	574,574

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自　2022年４月１日 至　2023年３月31日）	当連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2023年10月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	79,905	25,430
減価償却費	5,741	6,150
のれん償却額	4,556	5,935
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△12	△25,740
受取利息	△25	△56
支払利息	4,380	2,989
固定資産除却損	0	26
売上債権の増減額（△は増加）	△72,470	107,827
仕入債務の増減額（△は減少）	△25,072	△28,084
未払金の増減額（△は減少）	△33,044	△23,108
未払費用の増減額（△は減少）	25,849	△3,951
未払消費税等の増減額（△は減少）	△42,720	8,150
その他	△4,133	32,585
小計	△57,046	108,152
利息の受取額	25	56
利息の支払額	△4,565	△2,943
法人税等の還付額	7,955	18,653
法人税等の支払額	△122,572	△71,794
営業活動によるキャッシュ・フロー	△176,202	52,123
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△55,773	△4,307
投資有価証券の取得による支出	△9,990	△29,890
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	－	△92,883
敷金及び保証金の差入による支出	△45,007	△576
その他	2,030	△7,510
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,740	△135,168
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	203,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△70,681	△50,302
株式の発行による収入	39,338	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	171,657	△302
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	864
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△113,285	△82,481
現金及び現金同等物の期首残高	863,913	750,628
現金及び現金同等物の期末残高	750,628	668,146

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

（セグメント情報）

１　報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、サービスの提供形態別のセグメントから構成されており、「SNSマーケティング事業」、「DX支援事業」の２つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

報告セグメント	属するサービスの内容
SNSマーケティング事業	SNS運用支援サービス、SNS運用支援サービスツール、インターネット広告運用
DX支援事業	DX支援サービス

２　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

事業セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３　報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自　2022年４月１日　至　2023年３月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)１	連結財務諸表計上額
	SNSマーケティング事業	DX支援事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,563,923	89,778	1,653,701	1,653,701	－	1,653,701
セグメント間の内部売上高又は振替高	80	5,003	5,083	5,083	△5,083	－
計	1,564,003	94,781	1,658,784	1,658,784	△5,083	1,653,701
セグメント利益又は損失(△)	467,530	△6,997	460,533	460,533	△380,239	80,294
セグメント資産	1,085,787	46,721	1,132,509	1,132,509	278,931	1,411,440
その他の項目						
減価償却費	1,406	140	1,546	1,546	4,194	5,741
のれんの償却額	4,556	－	4,556	4,556	－	4,556
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,841	481	2,323	2,323	53,450	55,773

(注) １．調整額は以下のとおりです。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△380,239千円には、セグメント間取引消去0千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△380,239千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額278,931千円は、セグメント間取引消去△109,563千円及び各報告セグメントに帰属しない全社資産388,494千円であります。

(3) 減価償却費の調整額4,194千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額53,450千円は、全社資産の増加によるものであります。

２．セグメント利益又は損失(△)は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自　2023年４月１日　至　2023年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額(注)１	連結財務諸表計上額
	SNSマーケティング事業	DX支援事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	978,315	47,065	1,025,381	1,025,381	―	1,025,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	2,625	2,625	2,625	△2,625	―
計	978,315	49,690	1,028,006	1,028,006	△2,625	1,025,381
セグメント利益又は損失(△)	246,951	△6,211	240,739	240,739	△218,473	22,265
セグメント資産	861,569	38,872	900,441	900,441	505,010	1,405,452
その他の項目						
減価償却費	1,326	108	1,434	1,434	4,715	6,150
のれんの償却額	5,935	―	5,935	5,935	―	5,935
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	397	260	657	657	6,695	7,352

(注) １．調整額は以下のとおりです。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△218,473千円には、セグメント間取引消去1千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△218,475千円が含まれております。

(2) セグメント資産の調整額505,010千円は、セグメント間取引消去△149,199千円及び各報告セグメントに帰属しない全社資産654,210千円であります。

(3) 減価償却費の調整額4,715千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額6,695千円は、全社資産の増加によるものであります。

２．セグメント利益は連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（１株当たり情報）

	前連結会計年度 （自　2022年４月１日 至　2023年３月31日）	当連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2023年10月31日）
１株当たり純資産額	369.10円	381.66円
１株当たり当期純利益	31.46円	6.76円
潜在株式調整後 １株当たり当期純利益	30.75円	6.68円

（注）１．１株当たり当期純利益及び潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （自　2022年４月１日 至　2023年３月31日）	当連結会計年度 （自　2023年４月１日 至　2023年10月31日）
１株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	44,355	9,785
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	44,355	9,785
普通株式の期中平均株式数(株)	1,409,866	1,446,775
潜在株式調整後１株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	32,576	18,248
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権４種類 新株予約権の数2,500個 普通株式　62,500株	新株予約権４種類 新株予約権の数2,500個 普通株式　62,500株

２．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 （2023年３月31日）	当連結会計年度 （2023年10月31日）
純資産の部の合計額(千円)	552,758	574,574
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	18,759	22,399
（うち非支配株主持分）	(18,759)	(22,399)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	533,999	552,174
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,446,775	1,446,775

（重要な後発事象）

該当事項はありません。